

うちの課すごいぞ~~!! 選手権~ エントリーNo.3 構造計測課

建設技術センター社報

調査・試験を通して人々の暮らしを守る

建技季報

2026年夏号 (第十二版)

発行：建設技術センター

- Q1. 主な業務内容はなんですか？
 A1. コンクリート構造物の調査 (コア採取・はつり調査・粉体試料採取・鉄筋配筋探査・外観調査他)
- Q2. 一日のスケジュールをざっくりと教えてください。
 A2. 現地調査： 出社 現地調査場所へ移動 現地 KY の実施 調査開始 調査終了 片付け 会社へ移動 帰社 内業： 出社 内業 (調査結果作成等) 帰社
- Q3. 構造計測課ならではの自慢の試験 or 作業はなんですか？
 A3. 外観調査 粉体試料採取
- Q4. Q3 の内容と理由を教えてください。
 A4. 設備の劣化を確認し、まとめる作業、地道だが、重要な仕事だから、調査道具の改良を何度も行い、使いやすい道具へ改良したから。
- Q5. 業務の中でも好きな作業ランキング 3 位まで教えてください。
 A5. 1 位 粉体試料採取
 2 位 コンクリートのはつり調査
 3 位 シュミットハンマー試験
- Q6. 構造計測課の仕事アピールポイントをお願いします。
 A6. 山・川・海・都会のど真ん中、すべてが仕事のフィールドになる。また、普段は絶対に入れない場所で仕事ができる。(発電所・山奥・海上・高速道路内・鉄道にかかる橋・導水路など)



- Q7. 他の課に負けないことはなんですか？
 A7. 現場作業・デスクワーク作業の技術がどちらも身につく。



- Q8. ここでゲームタイム！忍耐力対決！！！！！！
 目を閉じて片足をあげる忍耐力ゲームを実施しました。
 A8. 一番長く耐えられたのは、K 次長でした～☆☆素晴らしい！！そして、なんとなんと N さんは 5 秒で脱落！！白熱した戦いとなりました！！！！！！



- Q9. 構造計測課を色で例えるとなんですか？
 A9. 理由：鉄筋探査・コア採取・はつり調査・外観調査・デスクワークなど様々な業務に関わり、培った多様なスキルにはそれぞれの色を持つから。
- Q10. 最後に、構造計測課のキャッチコピーを付けてみてください。
 A10.

「みんなの暮らしを守る、なんだり戦隊こんくりばすた〜ず」

フェースシールド、防塵マスク姿で戦っている。ストラクチャスキャンで相手の弱点を見極め、決め技はコアドリルアタック！時にはフルハーネスで戦いに挑む！！



NO ハラスメント撲滅宣言

私たち株式会社建設技術センターは、人々の暮らしの安全を守ると共に、従業員の人格・尊厳もハラスメントから守ることをここに宣言します。

ハラスメント撲滅に対する基本方針

1. 当社は、ハラスメントの撲滅に向けて真剣に取り組むことを徹底してまいります。
2. 当社は、ハラスメント問題が発生した場合、これに対して迅速かつ厳正なる対処をしてまいります。
3. 当社は、ハラスメントの撲滅に向け、従業員への社内教育を積極的に実施してまいります。

玄関&廊下&社屋 2F 遮熱フィルム貼り替えました

Before After

第14回安全大会・QC発表会

2026年4月17日(金)第14回安全大会・QC発表会を実施いたしました。弊社代表より開会の挨拶。その後午前のは、全9サークルによる発表が行われました。持ち時間は1サークル10分間。発表後は質疑応答タイム。無事全サークルが発表を終え、1年間の成果を出し切りました。お昼休憩を挟み、午後の部です。午後の部では、安全管理室より安全パトロール・事故報告・道路交通法・クマ情報などについて報告されました。道路交通法においては、2026年4月より自転車にも交通反則通告制度が適用され、青切符と呼ばれる通告書が発行されるようになります。また、近年目撃情報が多発し、話題となっているクマの被害においては、クマ出没警報が発令され、被害に遭わないための対策について紹介がありました。その後、土木学会で配布している「建設工事安全かるた」をグループ対抗にて実施いたしました。建設工事安全かるたの目的は、かるた遊びを通じて、多くの方々に建設工事の安全管理に対する関心を持っていただくために、様々な現場実務の場面に着目し作られたようです。現場へ出る方も出ない方も、技術者の安全衛生文化や意義を感じてほしい意向がありましたので、良い機会となりました。休憩を挟み、次は講習会です。今回は講師として株式会社防災対策研究所様より火災予防についての講義をしていただきました。改めて火災の恐ろしさ、避難の大切さ、そして何より自分の身は自分で守るための知識を一人ひとりが身に付けておくことが重要だと感じました。いくら避難訓練を実施していても火災を目の前にしたら、気が動転します。しかし、たった一つの行動とより多くの知識で助かる命があることを学びました。大切な人を守るために、自分の身を守るために、今日の命を明日へと繋ぐために、学んだ知識を身近な人へ伝えていこうと想った時間となりました。この場をお借りし、株式会社防災対策研究所様、貴重な講義をしていただき誠にありがとうございました。午後の部の安全大会も終え、次は表彰へ。今年は、10年・30年永年勤続者が各1名ずつおり、功労を讃えました。次に、安全標語の表彰です。佳作3名、優秀賞2名、最優秀賞1名。今年の安全宣言は、『小さな予兆は事故の元 いつもと違うのは危険のサイン』です。労働災害防止のため、全社で取り組んでまいります。最後はQCサークルの表彰です。今年は、全従業員参加型の特別賞を設け、一人一票として投票いたしました。1位・2位・3位・特別賞が発表され、それぞれ有終の美を飾りました。最後の総評を終えて、今年度の安全大会・QC発表会を閉会いたしました。その後は、懇親会が行われ、大変充実した1日を過ごすことができました。

安全管理室活動報告



グループワーク「建設工事安全かるた」



QCサークル発表会



総評



『火災予防』についての講習会

猫長んちの子

うちのネコ、リリちゃんのお話。リリちゃんは4年前に、保護ネコセンターから我が家に向かい入れたネコちゃん。年齢は推定5~6才。品種は、ボンバイ。つまり、黒猫ちゃん。はじめましての時から、シャーシャー。ウーウー。ゴール~ゴール~。ってな...センターの方からは、本当にこの子で大丈夫ですか?もしかししたら、最期まで懐かないかもしれないよ。と言われてました。そんなことを言われたら、半信半疑でも向かいます!最後の最期まで懐かないかもしれないけど。とリリちゃんに決めたのです。飼いだした当初よりは彼女の気分次第で触ることはできますが、現在もお、ま〜たく心を開いてくれません。4年経った今でも...本当に未だにそばに寄ってこないし、逃げるし、シャーシャー言うし、ウーウー怒ってるし、仲良くしてくれない。ちゅーるをあげて機嫌を取っても全然ダメ...そういう子のことをね、『家庭内野良猫』と言うらしいんです。テレビで見る世界とは全然違うのですね...だけどたとえ家庭内野良猫だとしても、たくさん愛情を注いで、いつか仲良くなって、モフモフできたらご報告いたします!!そしていつの日か一緒にゴロゴロ眠れる日を願って!!!

趣味の達人コーナー 寄稿大募集!! 趣味の達人コーナーでは皆様からの寄稿を募集中です! 「我こそは!」と思う方はぜひご応募ください!
 応募先 ㈱建設技術センター CSR企画室 土本宛 hoharu.takahashi@ctc-kengi.co.jp

従業員おすすめ カフェ紹介

第12号でご紹介するカフェは刈田郡蔵王町にある『Zao 樹のなか 採りたてやさいとチーズケーキ』さんです。ジブリの世界に居るような雰囲気のお店で、チーズケーキとコーヒーの組み合わせがほんとうに最高!! お店に辿り着くまで少々迷子になるかもしれませんが、一度足をお運びください

Follow us!

Instagram

インスタはじめました!

KENGI_4011

kengi_4011